



◎話し合い「迷惑をかけないタブレットの使い方」

5組では、二つのパターンでタブレットを活用した学習を行っています。一つは、「友達のよいところ見つけ」や「ジャガイモの観察」など、テーマを決めて行う学習です。もう一つは、「一人の時間」をより充実したものにするため、自分で何をするかを決めて行う学習です。子どもたちが自ら考え、実践する力を養うことで、将来的に余暇を楽しんだり、困難に立ち向かったりすることを目指しています。

今回、5組の3人の児童が、様々な場所でタブレットを使うことを想定し、「周りに迷惑をかけないタブレットの使い方」について話し合いました。目標や課題を教員が考えるのではなく、児童が自分たちで話し合い、納得した上でタブレットを活用していくことが、より効果的なタブレット学習に繋がると考え、話し合いを行いました。

話し合いの中で、「音」が話題に上がりました。資料1は、その時の授業記録の一部です。「イヤホンを使う」という、大人が考えるとすぐにたどり着きそうな意見にまとまりましたが、経験の浅い児童が自分たちで考えて導き出したことに意味があります。さらには、イヤホンの危険な使い方についても考えが及びました。今後、実際にイヤホンを使ってみて、使いやすさや周りへの影響を考えることを約束し、話し合いを終えました。

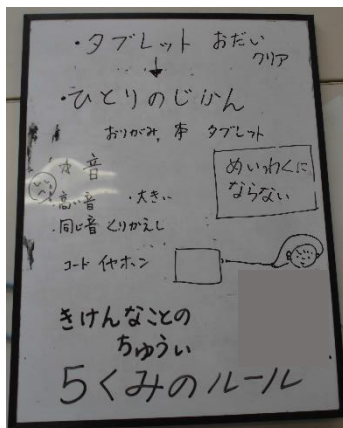
これから先、情報機器は子どもたちの生活にあって当たり前、むしろなくてはならないものになっていきます。児童が自分たちで情報機器の適切な使い方を考える機会を設けることで、「よりよい学習の在り方」を探っていけたらと思います。

【資料1 話し合いの記録】

- T：音の話が出たね。みんなはどんな音が苦手かな。
C1：大きな音。
C2：高い音。
C3：同じ音の繰り返し。
T：人によって苦手な音は色々だね。例えば、電車でタブレットを使う時に、音についてどんなことに気をつけるといいかな。
C1：音を小さくする。
C2：イヤホンをつけると、少しも聞こえない。
T：イヤホンって知ってる？お家にあるかな。
C：ある！
T：今度使ってみようか。迷惑をかけない使い方も考えたいね。
C1：見せびらかしたり、振り回したりしない。
T：そうだね。相手の気持ちを考えたいね。



【話し合いの様子】



【話し合いをまとめたホワイトボード】

【校内情報教育部会より】

話し合いの様子から、児童の真剣さが伝わってきます。

自分たちで話し合って決めたタブレットの使い方やルールは、きっと忘れないでしょう。今回はタブレットについての話し合いでしたが、「迷惑をかけない」ために必要なことを考えるのは、他の生活の様々なことにも生かせそうです。

今後の話し合いも楽しみです。